平成24年12月13日 楢葉町教育委員会 公益財団法人ヤマト福祉財団

福島県楢葉町「楢葉小・中学校中央台仮設校舎」開校式

「あおぞらこども園中央台仮設園舎」開園式の開催について

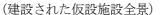
公益財団法人ヤマト福祉財団 (本部:東京都中央区、理事長:有富慶二、以下:ヤマト福祉財団)「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第5次助成先の一つである楢葉町は、避難中の小中学校及びこども園を避難先のいわき市に建設中の仮設校舎及び仮設園舎が完成するため、12月19日(水)午後1時30分より開校式、開園式を執り行います。

福島県楢葉町は東日本大震災による原発災害により避難生活を余儀なくされ、町内の二つの小学校と一つの中学校の生徒も区域外での就学を強いられました。しかし楢葉町で共に過ごした同級生や先生との授業を切望する生徒、父兄の要望を受け、平成24年4月、楢葉町教育委員会が多くの町民が避難している「いわき市」の民間施設を借り受け、101名の生徒達への授業を再開しましたが、本来の楢葉町への帰還には数年の年月を要します。そこで、現在142名にまで増加した生徒達の負担を少しでも軽減し、より良い教育環境を提供するため、平成27年3月までの間、仮設校舎を建設することを計画いたしました。

ヤマト福祉財団では、楢葉町の帰還後の復興に向けた地域就学環境を早期に改善するため、本年4月、仮設施設用地造成費用、仮設校舎設置費用、備品購入費用として総額1億9100万円の助成を決定しました。

建設先はいわき市の明星大学敷地内で、こども園も併設されました。







(校舎内施設)



(民間の施設を借りての学校生活)

福島県、東北の復興は途上にありますが、楢葉町の避難地域での新たな教育の取り組みが楢葉町の復興のシンボルとなり、町の復興は一歩進みます。復興に取り組む楢葉町の現状および、本式典の模様を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

楢葉町教育委員会 担当:教育総務課 鈴木・横田(0246-25-5563)

公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当:早川・渡辺 (03-3248-0691)

- 1. 日時 平成 24 年 12 月 19 日 (水) 午後 1 時 30 分開始
- 2. 場 所 楢葉町小・中学校中央台仮設校舎 体育館 所在地 福島県いわき市中央台飯野5丁目6番1号(いわき明星大学敷地内)
- 3. 主な出席者(敬称略)
 - (1) 楢葉町 町長 松本幸英
 - (2) 楢葉町 町議会議長 山内左内
 - (3) いわき市 市長 渡辺敬夫
 - (4) 会津美里町 町長 渡部英敏
 - (5) いわき明星大学 学長 関口武司
 - (6) 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富慶二

4. 施設概要

(校 舎) プレハブ構造 2 階建て 延べ面積: 1629. 29 ㎡ (特別教室) プレハブ構造平屋建て 延べ面積: 82. 35 ㎡ (屋内運動場) プレハブ構造平屋建て 延べ面積: 651. 85 ㎡

ミニバスケットコート ドッジボールコート バレーボールコート

(校庭) 7,800 m² 200M トラック

(園舎) プレハブ構造平屋建て 延べ面積: 422.78 m²

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。6月30日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142億円3608万1360円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額142億8448万751円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第5次までに助成対象31件に対し、総額142億6600万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ(http://www.yamato-fukushi.jp/)をご参照ください。